

各位

昭和電線電纜株式会社  
(コード番号 5805)

## 中国 東莞地区でのワイヤハーネス量産スタート

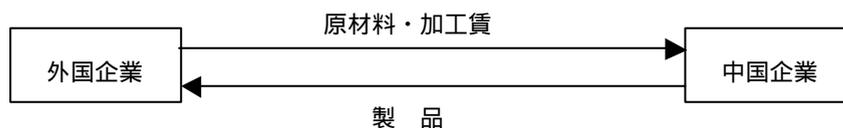
中国における昭和電線グループのワイヤハーネス事業の拠点再配置を目的として、珠江デルタ経済開発区の中核都市である広東省東莞市に新たに生産拠点を設け、本年10月より量産をスタートいたしました。

香港昭和有限公司の来料加工工場である「莞城昭和電線製品廠」は、中国の主力工場である浙江省嘉興市の嘉興昭和機電有限公司を補完する、より機動的なワイヤハーネス工場として、特に中国華南地区や東南アジアの日系メーカー向けに、主に家電、事務機器、産業機器のワイヤハーネスを供給し、2004年度には7億円の生産を計画しています。

これまで中国におけるワイヤハーネスの生産は、日本への供給を目的としたアウト/インの体制を整えてきましたが、近年、コスト優位性、WTO加盟の動きや中国市場の拡大を背景に日系セットメーカーの中国シフトが進み、今後、更に現地調達への動きも加速するものと思われます。今回多くの日系ユーザーが集積する華南地区に拠点を設けたことにより、いわゆるアウト/アウトをめざした生産体制再編を進め、中国ならびに東南アジア市場を睨み、価格競争力も持ち、高品質かつ短納期に対応できる体制を整え、事業拡大を目指します。

新たに製造部門を持った香港昭和は、販社機能のみならず、中国の昭和電線グループ企業を活用したケーブル開発からハーネス加工までを手掛けることが可能となり、華南地区、東南アジアのメーカーのニーズを的確にとらえ、迅速に対応することで、拡大する中国市場において、積極的な事業活動を展開していく方針です。

来料加工工場： 外国の企業が技術を持たない中国受託側に対して、原材料、設備等を無償提供し、中国側は相手方の要求する仕様に基づいて加工し、加工賃を受け取る工場。



莞城昭和電線製品廠ならびに香港昭和の概要は、以下のとおりです。

## 莞城昭和電線製品廠

1. 所在地 広東省東莞市莞龍路段獅龍路莞城科技园
2. 生産体制 工場床面積 約3,000 m<sup>2</sup>、現在約100名、年内に200名体制へ拡大
3. 生産計画 初年度 1.5億円、次年度 7億円

## 香港昭和電線有限公司(英文名: SWCC SHOWA (H.K.) CO., LIMITED)

1. 設立年月 2000年5月
2. 主な業務内容 ワイヤハーネスおよび関連製品の製造販売、複写機用ローラの販売等
3. 出資比率 昭和電線電纜株式会社 55.6%、株式会社ダイジ 44.4%
4. 本店所在地 香港九龍旺角皆老街113號2202室
5. 代表者 董事長 吉川 徹(当社取締役) 董事兼總經理 杉本栄(当社より出向)
6. 売上高 10億円(2005年度目標)
7. 資本金 180万HKドル

以上

本件に対するお問合せ先： 総務部 法務・広報グループ TEL 03-5532-1911